

2017年7月25日
三井情報株式会社

MKI、園と家庭をつなぐ連絡帳アプリ「きっずノート」を 全国私立保育園連盟加盟園 110 園に導入

—全国私立保育園連盟で「きっずノート」がIT分野では唯一の連盟推薦サービスに認定—

三井情報株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:小日山 功、以下 MKI)は、全世界3万9000の保育施設、120万の保護者世帯で導入されている、総合保育連絡アプリ「きっずノート」を公益社団法人全国私立保育園連盟(事務局:東京都台東区、会長:小林 公正、以下 全私保連)の加盟園110園に導入したことを発表します。また、「きっずノート」がIT分野では唯一の全私保連推薦サービスに認定されたことも合わせてお知らせします。

全私保連は、全国約 9000 園の加盟園を有する国内最大規模の私立保育園団体です。主な活動として、それぞれの地域における保育ニーズや、保育を取り巻く様々な状況を把握して、そのための制度や運営のあり方、保育内容の充実のために常に前向きな取り組みを展開しています。

近年、全私保連が保育に関する活動の中で加盟園の大きな課題として認識しているのが「保育士の業務省力化」、「保育の質の向上」、「保護者の安心感の向上」、及び「災害時の緊急連絡対策」です。これらの課題を軽減、解決するために MKI が全私保連を通じて加盟園に提案したのが「きっずノート」です。「きっずノート」は PC やタブレット、スマートフォン等で使用できる総合保育連絡アプリで、これまで主に紙で保護者と園がやり取りしていた子どもに関する様々な情報を、アプリでいつでも入力・確認できます。これにより、きめ細やかな保育サービスを提供しながら、保育者・保護者双方の負荷を大幅に減らすことが可能です。また、災害時においては、園から保護者へ避難や待機といった状況の即時一斉連絡が可能であり、保護者もリアルタイムで確認し、返信することができます。

こういった機能の有用性が評価され、「きっずノート」が IT 分野では初めて、唯一の全私保連推薦サービスとして正式に認定されました。その後、全私保連と MKI が協業し、加盟園に対して「きっずノート」の紹介を行ったところ、僅か 2 カ月あまりで 110 園の加盟園に「きっずノート」が導入され、現在も普及が進んでいます。

加盟園への導入にあたり、全私保連から以下コメントをいただいています。

「「きっずノート」は、園内の職員における情報共有や保護者とのコミュニケーションの円滑化を、業務を省力化しながら実現でき、加盟園からは、保育士の業務環境の改善や、保護者との連携強化に役立つとの声を多数頂いております。平成 30 年度の保育所保育指針の改定の方向性にも挙げられている「家庭との連携による子育て支援」、「職員の資質・専門性の向上」を支援するツールとして、これからも全私保連は「きっずノート」の普及および利用の促進を図ってまいります。」

公益社団法人全国私立保育園連盟
事業部長 山口 千晴

MKI は今後も、ICT を通じて子どもの健やかな成長をサポートし、その一環として、保育施設だけでなく、「きっずノート」の機能を活用できる認定子ども園、幼稚園などの普及にも注力していきます。

■導入済み全私保連加盟保育園の声(抜粋):

	社会福祉法人 天心報恩会 別所保育園(福岡県)	社会福祉法人 やすらぎの郷 オアシスこども園(愛知県)	社会福祉法人 さくら会 勝幡さくら園(愛知県)
導入の決め手は？	職員の事務作業を軽減し、保護者への連絡を徹底したかった。	保護者への一斉連絡や、クラスを選択して連絡することができるなど、連絡がきめ細やかにできるため。	アナログの今までのノート記入の手間を少しでも軽減するための機能(ノート、おしらせ、写真等)がすべて入っていたため。
保育士の反応は？	連絡帳の記入が少人数で対応でき、作業時間も短縮されました。 保護者からの返信内容がより深い内容になりました。	連絡帳やお便りが一斉に送れるので、とても助かります！ 連絡帳を一覧化してチェックできるので、確認しやすくなりました。	保護者がお迎えに来る前に送信出来る為、お迎え時の保護者との会話などのコミュニケーションに繋がっています。
保護者の反応は？	園から送られる写真によって、こどもの様子や保育の状況がより分かりやすくなりました。	1日の出来事が分かるので、家に帰った後、こどもと園の話じっくりできるようになり、嬉しいです。	アルバムの写真を通して行事等の雰囲気も分かり、園での様子をより知る事が出来るようになりました。

以上

【三井情報株式会社について】

三井情報株式会社(MKI)は、コンサルティングからシステム開発、基盤構築や運用・保守などITに関わる多様なサービスを半世紀にわたりお客様に提供してきました。合併10周年を迎えた2017年4月には新たに“デジタルトランスフォーメーションセンター”を設置し、お客様のビジネス創造を実現する新しいITサービスを展開しています。MKIは常に市場やお客様のニーズを捉え、蓄積された技術と知=KNOWLEDGEを駆使することで、新たなビジネスの創出と顧客への価値提供に絶え間なく挑戦し続けていきます。

ホームページ: <http://www.mki.co.jp/>

※三井情報、MKI及びロゴは三井情報株式会社の商標または登録商標です。

※本リリースに記載されているその他の社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。